

平成30年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成30年6月19日）

協議会議事要点録				
会議名	平成30年度 第1回江田島市公共交通協議会			
日時	平成30年6月19日（火）13時30分～14時40分			
場所	江田島市役所4階会議室			
傍聴者	4名			
出席者	県立広島大学	名誉教授	のほら けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教授	おかやま まさと 岡山 正人	○
	江田島バス株式会社	代表取締役	おもかわ ただみち 重川 忠道	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	はたふじ ひでき 畠藤 秀樹	○
	広島県旅客船協会	会長	にった いちろう 仁田 一郎	代理出席 松山 生馬
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	たにぐち みのる 谷口 実	○
	広島県タクシー協会江能支部	支部長	いまみや こうじ 今宮 浩二	代理出席 城山 賢二
	江田島市自治会連合会	会長	こせき たかひろ 小跡 孝廣	○
	江田島市老人クラブ連合会	会長	ふるもと さねき 古本 眞機	○
	江田島市社会福祉協議会	会長	どうの さき たいら 堂野崎 平	○
	江田島市女性会連合会	会長	はままつ ゆきこ 濱松 由紀子	○
	江田島市観光協会	会長	いとう ふみお 伊藤 富美雄	×
	中国運輸局	海事振興部旅客課長	こんどう ただよし 近藤 忠義	○
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	はしもと みちひさ 橋本 実千寿	代理出席 重長 誠
	広島県	地域政策局 地域力創造課長	やまだ かずたか 山田 和孝	代理出席 山香 賢治
	江田島警察署	地域交通課長	ほった しんじ 堀田 真二	○
	江田島市	副市長	どて さんせい 土手 三生	○
	江田島市	企画部長	えごう かずゆき 江郷 孝行	○
江田島市	土木建築部長	ひろなか のぶたか 廣中 伸孝	○	
1 開 会				
事務局	開会宣言			
2 会長あいさつ				
会 長	土手会長あいさつ			

3 議長の選任について	
各委員	野原委員を平成30年度の議長に選任
4 議題	
(1) 協議事項	
ア 平成29年度決算及び監査報告（資料1）	
議長	平成29年度決算及び監査報告でございます。事務局から御説明よろしくお願ひします。
事務局	－資料1により説明－
議長	続いて、本来であれば、監査委員でありました濱中監査から、監査委員をお願いするところではありますが、役員改選により、つい先日に交替となりました関係上、今回は事務局から報告をお願いします。
事務局	監査につきましては、5月23日に濱中監査委員に監査頂いております。平成29年度江田島市公共交通協議会の歳入、歳出の決算については、諸帳簿及び関係書類等を照合した結果、歳入、歳出とも、適正かつ的確に処理されていることをご報告いたします。
議長	ただいま事務局から報告がありました。これにつきまして何か御質問、御意見がありましたら承りたいと思ひますが、いかがでしょうか。
各委員	（質問・意見等なし）
議長	なければ、平成29年度江田島市公共交通協議会決算及び監査報告につきましては、ご了承を得たということで、取りまとめさせていただきます。
イ 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請について（資料2）	
事務局	－資料2により説明－
議長	ただいまの説明につきまして、何か御質問あるいは御意見がありましたら、承りたいと思ひます。いかがでございましょうか。
委員	沖美南部線について、利用者数が約27%増加している一方、事業収支の収入はそれほど上がっていない。その理由とそもそもなぜ利用者数が伸びたのか教えてほしい。
事務局	平成29年度から運行経路と委託方法を見直した。運行経路については、新しい病院が出来たので、そこに接続した。また、可能な範囲で航路に合わせ、地元から要望のあった林山上という場所へ寄るようにダイヤの変更をした。これらの影響で乗客数が大きく伸びたのではないかと考えている。 江田島北部朝夕便と江田島北部線、ここも小用港まで経路を伸ばすなど、運行経路の見直しはしているのだが、乗客数が伸びていない状況である。 委託方法については、委託料算定見直しを行った。ひとつは近年の人件費の上昇を勘案して、委託費の時間単価を上げた。もうひとつは、収入の半分は事業者に入るような、インセンティブが働く計算方法を導入した。以上により利用者数が伸びても、収入が伸びていないということになっている。

平成30年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成30年6月19日）

議長	ただいま事務局から説明がございました。他には何か御質問、御意見はございませんでしょうか。
各委員	（質問・意見等なし）
議長	それでは地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請につきましては、御了解を得たということで、取りまとめさせていただきます。
ウ 地域公共交通網形成計画の評価指標の中間検証について（資料3）	
議長	地域公共交通網形成計画の評価指標の中間検証につきまして、事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料3により説明－
議長	ただいまの説明につきまして、何か御質問あるいは御意見がありましたら、承りたいと思います。いかがでしょうか。
委員	通学定期代補助制度の利用者数について教えてほしい。また、評価指標のうち、地域が主体となった取組の件数のところで、事務局としても何か検討されているとのことですが、運輸局としてもバスの乗り方教室等を開催している部署があるので、ご協力させていただければと考えています。
事務局	通学定期代補助制度の利用者数は約550名です。通学定期代の3分の1補助ということで、補助金額では約2千7百万円です。
議長	地域が主体となった取組のところで、バスの乗り方教室等を実施してはどうかという意見がありましたが、それについて、事務局で何か案があるのでしょうか。
事務局	例えば、市内のイベントのスペースを借りる、若しくは自治会などの人が集まる機会を利用してバスへの関心が高まるような乗り方教室が開催出来ればと考えています。これについては、バス運行事業者さんに相談させて貰っているところです。
議長	バス運行事業者の協力を得て、地域の方々がバス利用に関して親しみを持っていただくということですが、バス運行事業者さんから何かありますでしょうか。
委員 （運行事業者）	人口が減少するなかで、バスの乗客を増やすためには、バスだけでなく行政や住民の方々の御協力が必要です。小学生に関しては、学校で乗り方教室をしていますが、高齢化社会のなかで、高齢者へのバスの乗り方、または車内転倒事故防止のためにも、乗り方教室の開催は賛成です。バス運行事業者としても開催に協力したいと考えています。
議長	御協力のほどよろしく申し上げます。今の件に関して、行政と事業者で協力して進めるということですが、住民側から何かご意見ありませんでしょうか。老人クラブから何かありますでしょうか。
委員	先ほど江田島北部朝夕便の利用者が少ないという話がありましたが、最近聞いた話で、高田地区の一部地域では車を出す人がいて、車に乗り合って外出しているとのこと。その地区は15世帯程度だと。いいかどうかは別として、地域で助け合っているのではないかと。

平成30年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成30年6月19日）

事務局	横の連携が悪いと言われそうですが、事務局としては把握していませんでした。どのような形態なのか、聞いてみたいと思います。
委員	おれんじ号で300円必要なら、近くまで乗せてあげるといった感覚で、近所で助け合っている程度ではないかと思う。そのあたりを厳しく言われると善意が仇になってしまうので、そのあたりは考慮してほしい。
議長	女性会から何かありますでしょうか。
委員	特にありません。
議長	社会福祉協議会から何かありますでしょうか。
委員	最近の話だが、80代のご主人が亡くなって、移動手段もなくなり、買い物に困るという相談を受けた。介護保険対象者ならヘルパーに頼めるし、移動販売がある地域であればそれを利用して貰うのですが、そういった対象から外れている。そういった方々は隣近所で助け合いが必要となる。料金を取るとなれば違反になるので、話し合いの場を持って仕組みを作ることも必要だと思います。 船も、この島から通勤している人は多い。学校にしても仕事場にしても広島・呉から通えるということをアピールしてはどうか。
議長	自治会から何かありますでしょうか。
委員	おれんじ号の話が出ているが、私の居住地はバス路線運航地域でバスの便利がいい地域だと思います。おれんじ号については今後勉強していきたい。
議長	ありがとうございました。他には何か御質問、御意見はございませんでしょうか。
委員	単純に考えると、高齢者の死亡事故が多いので、免許返納して貰って、バスやおれんじ号に乗ってもらったらいいとなる。管内でも年間100人近い方が、免許返納されている。運転経歴証明書という身分証明書を代わりに発行するのだが、他に特典は設けていない。世羅町では免許返納者に対してタクシー利用券を毎年3万円出すと聞きますし、他の地域では、1万円程度のバスの回数券を交付していると聞く。免許返納者だけに対して公金を使うのは不公平だということで何もありませんという自治体もある。限られた予算のなかで、警察として協力できて、免許返納が進み、事故も減り、バス利用が増える方法があればよいと思っている。
事務局	免許返納者に対して特典を設けるということ、他の自治体でもやり始めており、当市では現時点ではやっていません。個人的な見解を含むが、免許返納してくださいと進めても、バスがないと何処にも行けなくなる。何処にも行けない状況になってから返納してくださいとも正直なところ言いにくい。今年度、江田島バスさんと一緒になって、路線の再編を考えてみようということで検討を進めています。まずは路線を整えることからやってみようと考えています。
議長	ありがとうございました。他に御意見はございませんでしょうか。
委員	計画の目標3に記載がある、ICカードの導入についてお聞きします。船舶にICカードを導入する場合は、特殊性があるため、ハンディタイプの読取機の開

平成30年度 第1回江田島市公共交通協議会（平成30年6月19日）

	発を検討して頂きたいと発言したことがあるが、その後どうなっているかお聞きしたい。
事務局	現在、パスピーが導入できないかと検討しており、ハンディタイプの読取機についてはパスピー運営協議会事務局に話している。現時点では、ハンディタイプはまだ検討していないとの回答でした。ただし、おれんじ号のようなタクシー車両に設置できる読取機は開発しているとのことでした。
議長	今後も検討を進めて頂ければと思います。他には何か御質問、御意見はございませんでしょうか。
各委員	（質問・意見等なし）
議長	それでは地域公共交通網形成計画の評価指標の中間検証につきましては、御了解を得たということで、取りまとめさせていただきます。
5 その他	
議長	その他でございます。何かありますでしょうか。
会長	先ほど、委員さんから、この島から通勤している人が多く、広島・呉から通えるということアピールしてはどうかという話が出たが、実は市長が昨年から知事に江田島から通勤してみませんかとお願ひしていました。それが実現しまして、7月11日から2泊3日で知事が県庁で仕事をして、江田島へ船で帰ってきて、宿泊してもらおうという内容です。本日記者発表しましたので、情報発信して江田島をPRできるという企画が実現しています。情報提供ということで、お知らせします。
議長	ありがとうございます。他に何か御意見はございませんでしょうか。これで終了となりますが、よろしいでしょうか。
各委員	（質問・意見等なし）
6 閉会	
議長	それでは、以上をもちまして、本日の協議会を閉じさせていただきます。今日は長時間、ありがとうございました。